

ノーモア・ヒバクシャ通信 第51号

2020年6月19日

ホームページ <http://www.kiokuisan.com/>
継承ブログ <http://keishoblog.com/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/kiokuisan>
ツイッター <https://twitter.com/nomorehibakusha>

発行者
NPO 法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会
〒102-0085
東京都千代田区六番町 15 プラザエフ 6F
Tel/Fax 03-5216-7757 (直通)
Email hironaga8689@gmail.com
郵便振替口座 00110-5-292881
口座名義 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

I. 第8回通常総会のご報告	1
II. 未来につなぐ被爆者の記憶チャリティー・イベント（中止）の告示	2
III. オンラインを活用した平和活動の進め方 学習会のご案内	2
IV. 未来につなぐ被爆者の記憶PJのご報告	3
V. 【資料庫部会から】所蔵「核関連文献目録」を公開	3
VI. 英文ブックレット “No More HIBAKUSHA—Message to the World—” を発行	4

I. 第8回通常総会のご報告

新型コロナウイルスの感染リスクが懸念されましたが、オンラインによる出席も要請し第8回通常総会を開催しました。主な論議は次の通りです。

- ：各地の被爆者に若い人がインタビューするオンライン会議を収録し、YouTnbe にあげたり、お金を集めたりすることに若い人も参加して準備できないか。
- ：今回の国際平和博物館会議もW e b で世界中に見てもらえるようにしたい。被爆者の証言、活動紹介のビデオ、継承する会がめざすもので、オンライン参加できないか。
- ：「NHK被爆者からの手紙」を女子学生ら若い作家がアニメ制作に取り組んでいる。若手芸術家へ（被爆の記憶の）制作を呼びかけるのはどうか。
- ：W e b 上に書籍や文献の英訳を載せ世界に広げるきっかけをつくる。（被団協のH P では英文の証言、資料も読める。）
- ：ヒバクシャ国際署名連絡会で、オンライン証言会を試み、全国から高校生や大学生が参加し、手ごたえを感じた。

なお、開催要領並びに各議案は、次の通りです。

- ◆ 日 時 5月23日（土）午後1時から3時まで
- ◆ 会 場 東京四谷主婦会館 プラザエフ5階会議室
- ◆ 議 題 <審議事項>として、第1号議案：2019年度事業報告。第2号議案：2019年度決算が承認されました。
<報告事項>として、①2020年度事業計画及び予算、②未来につなぐ被爆者の記憶チャリティー・イベント（中止）、③中澤正夫副代表理事の代表理事代行就任について、確認しました。

II. 未来につなぐ被爆の記憶チャリティー・イベント（中止）の告示

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、7月21日、日本青年館ホールで開催予定の「未来につなぐ被爆の記憶チャリティー・イベント」を中止することにしました。

真に残念です。実行委員会は一旦、解散しますが、チャリティー・イベントは、時宜を得て、これまでの企画を基本にして再び取り組みたい考えております。実行委員会の皆さんにも、「必要に応じ、再結成を呼びかけること」に同意していただいております。また、池辺晋一郎さんをはじめ出演者の方々には、これまでのご協力に対し感謝の気持ちをお伝えし、今後ともご支援いただけるようお手紙を差し上げました。

なお、中止となったプログラムは、次の通りです。

◆ プログラム

混声合唱組曲「こわしてはいけない～無言館をうたう」（指揮 池辺晋一郎 ほか）
朗 読 劇 「夏の雲は忘れない」（長内美那子、大原ますみ、山口果林、子どもら）
報告と訴え 映像「声が世界を動かした」（被爆者運動史）、活動紹介と訴え
演 奏 「原爆をゆるすまじ」（ユージェント・フィルハーモニー）
司 会 檀 ふみ（イベント全体の進行役）

III. オンラインを活用した平和活動の進め方 学習会のご案内

この会では、「未来につなぐ被爆の記憶プロジェクト」として、デジタルシステムを活用して被爆者の体験を聞き、交流する試みをすすめてきました。この度、この取り組みを全国各地で展開できるように「整えたシステム」を情報開示し、実地に説明・紹介するとともに、オンラインを活用した平和活動について事例紹介と交流をすすめるものものです。

学習会の要領は、次の通りです。なお、同梱のチラシもご覧ください。

【名 称】未来につなぐ被爆の記憶～オンラインを活用した新たな継承へ～

【日 時】2020年7月21日（火）13：30～15：00

【会 場】オンライン（全国どこでも参加可能）

【主 催】ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

【共 催】日本生活協同組合連合会

【協 力】東京大学大学院情報学環 渡邊英徳研究室
ダーウィンエデュケーション株式会社

【連絡先】日本生活協同組合連合会 社会・地域活動推進部 組合員活動グループ
E-mail:kumikatsu@jccu.coop

IV. 未来につなぐ被爆の記憶 PJ のご報告

(1) 「未来につなぐ被爆の記憶」専用サイトは6月完成！

5/30（土）10時半から「未来につなぐ被爆の記憶」プロジェクト関係理事、ボランティア・スタッフのミーティングを開催、2020年度プロジェクトの展開プランや専用サイトの構築スケジュールについて話し合いました。専用サイトの名称は「未来につなぐ被爆の記憶プロジェクト」とし、6月中に専用サイトは完成の予定です。



専用サイト「未来につなぐ被爆の記憶プロジェクト」には、現在27名（東京15名、埼玉4名、神奈川1名、千葉3名、岐阜1名、京都3名、ブラジル1名）の方の体験記や顔写真、お話を聞いた方の感想が登録されています。専用サイトは左のQRコード、<http://nomore.apllo.io/cesium/>よりアクセスいただけます。



緊急事態宣言は解除となりましたが、依然としてこれまでのようにオフラインでの企画、ミーティングが難しい状況にありますが、6月の専用サイトの完成後、オフライン企画の準備として全国の被爆者のマッピングを進めていきます。

(2) 8/1（土）16時からオンラインでクイズ、被爆証言を配信します



2020年埼玉戦争展は中止となりましたが、被爆体験を子どもたちに伝える親子向けプログラムはオンライン配信の企画として準備を進めています。

プログラムは導入としてクイズ形式で原爆について学んでもらい、続いて9歳の時に広島市の吉島町で被爆した木内恭子さん（しらさぎ会）に小学校の男の子と女の子がインタビューする形でお話を聞くというもの。2月に木内さんのお話をお聞きすることからスタートし、月1回のペースでクイズや証言の台本作りを進めてきました。

8/1（土）16時からオンライン配信の予定です。参加申し込みなど詳しいことは継承する会のtwitterなどでお知らせします。

写真は3月のミーティングの様子。4月、5月はコロナの為、オンライン会議ソフトを使ったオフラインミーティングになりました。

継承する会のtwitter <https://twitter.com/nomorehibakusha>

V. 【資料庫部会から】継承する会が所蔵する「核関連文献目録」を公開しました

継承する会が発足以来、現在までに収集・整理してきた書籍・冊子類のなかから、核関連文献等の目録を、5月25日、会および日本被団協のホームページで公開しました。

「核関連文献」には、原子力、核兵器、核戦略、核軍縮、核問題、原水爆禁止・反核・非核運動のほか、核実験、核施設、原発等も含まれています。（放射線に関する文献のうち、広島・長崎原爆について言及のあるものは、すでに公開した「調査・研究文献目録」に収録してあります。）

目録はエクセルのデータで、ホームページからダウンロードもできます。

目録は原則として書名順（50音順。外国語文献はabc順）に整列してあります。（詳細は、HPの目録の「公開について」をご参照ください。）

【みなさまへのお願い】

1. 当会では、原爆被害だけでなく、ひろく核兵器・原子力にかかわる文献等についても可能なかぎり収集・保存することをめざしています。
 - 1) この目録に含まれていない核関連文献等（自費出版、私製版も含む）についてご存知の方は、その情報をお知らせください。
※とりわけ、原水禁国民会議や核禁会議等の資料をお持ちの方はお知らせください。
 - 2) 上記核関連文献等をお持ちの方でご寄贈いただける方は、ぜひご連絡ください。
2. 当会としては、できるだけ複数部数を備えたいと考えています。この目録で所蔵部数3部未満の文献についても、ご寄贈いただければありがたく存じます。

VI. 英文ブックレット “No More HIBAKUSHA—Message to the World—” を発行

今年開催される予定だったNPT（核兵器不拡散条約）再検討会議に向けて、継承する会は日本被団協と協力して、Web上で読むことのできる被爆者問題の基本資料（英文）のリストを作成し、代表団が持参する準備をすすめてきました。

再検討会議は延期になりましたが、その英文リストのブックレット “No More HIBAKUSHA—Message to the World—” が発行されました。日本被団協結成大会の宣言、1977年NGO国際シンポジウムの英文報告書（一部）、1982年SSDⅡにおける山口仙二（日本被団協代表委員）の演説原稿、「原爆被害者の基本要件」、1985原爆被害者調査による証言集（『「あの日」の証言』など）4冊、等々、資料の概要とURLが紹介されています。

英訳には、横田和彦さん、漆原牧久さん、英文校閲に Scott KOUCHI さんが協力してくださいました。

このブックレットは来年開催予定の再検討会議に代表団が持参しますが、ご希望の方には頒布します。海外のお知り合いや国際的な交流の機会などにご活用ください。

1冊100円（送料実費）。お申し込みは、日本被団協へ。

〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-5 ゲイブルビル902

TEL 03-3438-1897/FAX 03-3431-2113

以上